

横手市
マンガ活用後期基本計画

2021（令和3）年4月

目次

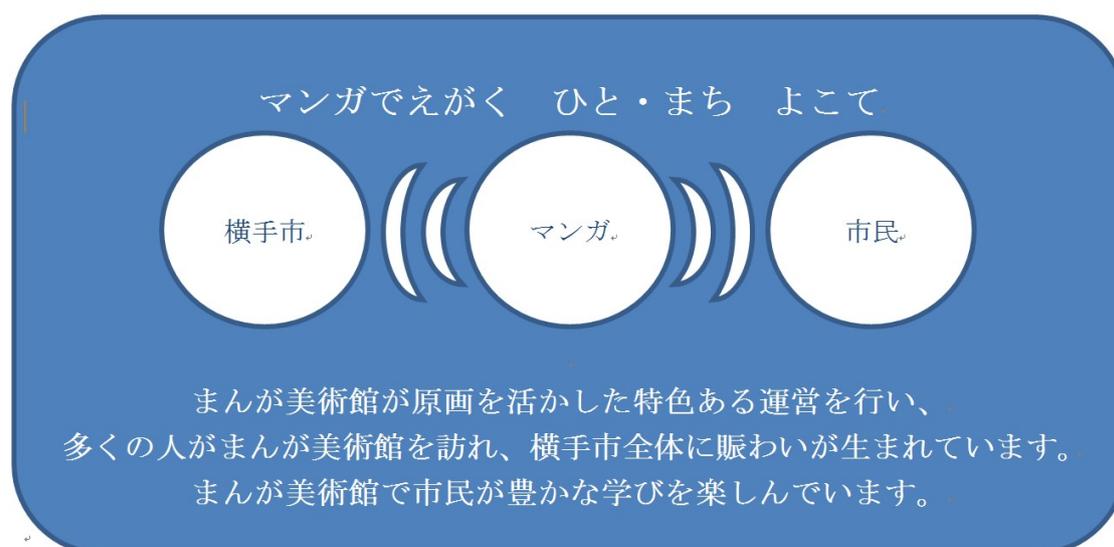
第1章 序論 横手市マンガ活用後期基本計画の策定にあたって	1
1 計画の位置づけ	1
2 計画の期間	1
3 計画の構成	1
第2章 基本計画	2
1 はじめに	2
【基本目標1】	3
マンガ原画を活用した特色ある美術館運営	3
【基本目標2】	7
地域と連携した賑わい・経済効果の創出	7
【基本目標3】	10
マンガの魅力を活用したこどもの教育、豊かな学びの提供	10

第1章 序論 横手市マンガ活用後期基本計画の策定にあたって

1 計画の位置づけ

本計画は横手市マンガ活用構想に掲げる、マンガ活用の将来像「マンガでえがく ひと・まち よこて」を実現するための中期的な指針となるものです。

横手市の目指すマンガ活用の将来像



本計画では計画期間中における、3つの基本目標ごとの方針・取組を明らかにし、展開する事業の基本的な方向性を示しています。

2 計画の期間

本計画の期間は、マンガ活用構想の期間である2018（平成30）年度から2025（令和7）年度までの8年間のうち、2021（令和3）年度からの後期5年間とします。

3 計画の構成

本計画は、序論、基本計画で構成します。

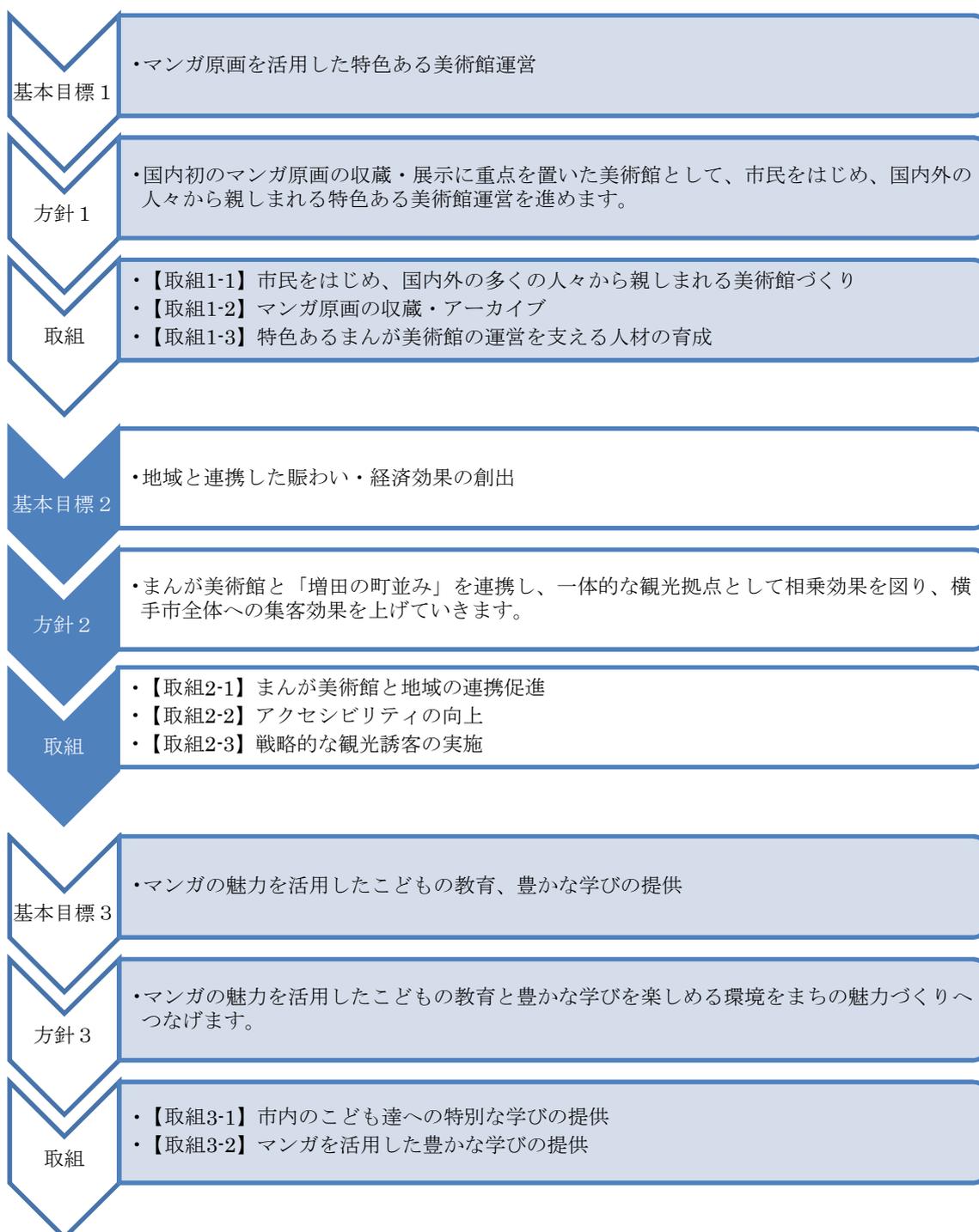
序論では、「横手市マンガ活用後期基本計画」の位置づけ、期間、構成を示しています。

基本計画では「横手市マンガ活用構想」で示した3つの基本目標を実現するための方針と取組を示したものです。

第2章 基本計画

1 はじめに

市の目指すマンガ活用の「将来像」を実現するために、3つの基本目標と9つの取り組みを進めます。



【基本目標 1】

マンガ原画を活用した特色ある美術館運営

【方針 1】

国内初のマンガ原画の収集・展示に重点を置いた美術館として、市民をはじめ、国内外の人々から親しまれる特色ある美術館運営を進めます。

1. 目指す将来の姿

まんが美術館がマンガ原画を活用した特色ある美術館運営を行い、市民をはじめ国内外の多くの人から親しまれ、来館している。

2. 取組方針

国内初のマンガ原画の収集・展示に重点を置いた美術館として、市民をはじめ、国内外の人々から親しまれる美術館づくりを進めます。

また、まんが美術館の特色と魅力をより高めるため、マンガ原画の収集・アーカイブ、マンガ文化・産業を支える人材育成を進めます。

3. 現状と課題

- まんが美術館が市民や利用者にとって憩いの場となり、さらには国内外を代表する「マンガ原画の収集」拠点として、マンガ文化の発展に大きな役割を果たす施設として期待されています。
- 日本で唯一の「マンガ原画の収集」に特化した美術館としてリニューアルオープンして以降、国内外の漫画家 181 名のマンガ原画、約 40 万点（2020（令和 2）年 3 月末現在）を収集してきたが、当初の予定より早いペースでマンガ原画収集が進んだため、今後の保存作業においては、効率的に進めていくことが必要です。
- まんが美術館のマンガ原画収集能力が 70 万点と限られている中で、既に半数以上収集されているため、2020（令和 2 年）年 7 月から本格稼働している全国で初となる「マンガ原画アーカイブセンター（文化庁メディア芸術連携基盤整備事業）」機能を有効に活用し、類似施設と連携を図りながらマンガ文化の継承に努める必要があります。

- 来館者のマンガ文化に対する知識を深め、かつ満足度の向上を目指すため、ニーズに対応した企画展開催や展示内容の充実を図る必要があります
- 日本の文化として世界でマンガ原画の価値が高まっている中で、まんが美術館運営の土台ともいえる保存・展示・研究・調査・教育などの活動に対してもその重要性が高まりつつあります。その活動を支えていくうえで、専門人材の配置とその育成が急務となっています。
- 博物館法で定められている博物館相当施設（博物館法第 27 条）の指定を受け、調査研究や地域貢献の姿勢を明確にし、事業水準の向上を図る必要があります。
- 国内外において、まんが美術館の認知度を高めるため、市民や市内企業等の協力を得ながら、日本の文化であるマンガの魅力、またその多数の原画を収蔵、展示している美術館の魅力を発信して来館者数を増やすとともに、リピーターの獲得を目指します。
- 2019（令和元）年末頃に発生した新型コロナウイルス感染症により、今後の一定期間は社会全体にその影響を及ぼすものと推測されます。引き続き美術館としてこのような感染症を想定した対策が必要とされる中で、対処方法の確立や 3 密回避を含めた新しい生活様式に対応した取り組みが求められています。

4. 取組の展開

主な取組	
<p>【取組 1-1】 市民をはじめ、国内外の多くの人々から親しまれる美術館づくり</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 市民および国内外のマンガファンが、マンガ文化を学ぶことができる随一の美術館としての企画や展示に取り組めます。 2) マンガ原画に関する専門性の高い企画展を開催し、来館者のマンガ原画に対する知識を深める機会を創出します。 3) 名誉館長および横手市マンガ活用アドバイザー等、関係者の助言を下に、創意工夫を凝らした関連事業の充実に努めます。 4) まんが美術館と来館者を結ぶ懸け橋として、美術館に協力いただけるサポーター等と共に「私たちのまんが美術館」を盛り上げる活動を進めます。 5) 市民と協働した情報発信を展開し、シビックプライドの醸成に活かします。 6) SNS 等の情報発信に加え、マスコミ、旅行業者等へ積極的に魅力を発信し、国内外における認知度の向上に努めます。

	<p>7) 利用者等がコロナウイルス等の感染症の影響を受けにくい利用方法の確立や3密回避を含めた新しい生活様式に対応した取り組みを行い、安全安心な施設運営を目指します。</p>
<p>【取組 1-2】 マンガ原画の収集・アーカイブ</p>	<p>1) マンガ原画をまちづくりに活かし、マンガ文化を継承する拠点として、マンガ原画の収集を進めます。</p> <p>《収集方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①秋田や横手、まんが美術館とつながりがある漫画家の作品 ②まんが美術館の取組みに賛同する漫画家の作品 ③マンガ文化の継承・発展のため、資料保存が必要な作品 ④観る人に夢やロマンを与え、豊かな感性や想像力を育む作品 <p>2) 収集したマンガ原画をアーカイブし、まんが美術館の事業やマンガ文化の研究資料、まちづくり事業などに活用していきます。</p> <p>3) 全国で初となる「マンガ原画アーカイブセンター」機能を有効に活用し、類似施設と連携を図りながらマンガ原画の収集・アーカイブ等に努めます。</p>
<p>【取組 1-3】 特色あるまんが美術館の運営を支える人材の育成</p>	<p>1) 専門人材を配置し、「マンガ原画に特化した美術館」という特色と魅力をさらに高めるため、マンガ原画や関連資料における研究に取り組み、その成果を地域に還元する活動を進めます。</p> <p>2) 全国のマンガ関連機関・施設と協力して「原資料の散逸防止」、「体系的なアーカイブの構築」、「人材育成」に取り組みます。</p>

主要事業

1. 増田まんが美術館費
(マンガ活用アドバイザー事業・みちのくマンガロード交流事業・マンガジャパン
およびアニメツーリズム連携事業)
2. 増田まんが美術館費(債務負担)指定管理
(施設管理・企画展開催事業・ワークショップ、移動マンガ教室開催事業・
マンガ原画収集保存事業・文化庁メディア芸術連携基盤整備事業[マンガ
原画アーカイブセンター])
3. 増田まんが美術館情報発信強化事業
(市民協働情報発信事業[まんが美術館PRサポーター事業])
4. 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業(文化庁補助事業)
5. 秋田県文化プログラム推進事業
6. 感染症に対応した新しい生活様式に対応した取り組み

取組の成果指標

成果指標	現在値 2020(R2) 年度	2021(R3) 年度	2022(R4) 年度	2023(R5) 年度	2024(R6) 年度	後期目標値 2025(R7) 年度
基本目標	まんが美術館入館者数(千人)					
	142 2019(R元)年度	130	150	155	160	160
サブ指標	国内来訪者満足度(%) ※魅力増進マーケティング調査					
	—	55	60	65	70	70
	リピーター率(%) ※魅力増進マーケティング調査					
	20 2019(R元)年度	24	26	28	30	30

5. 関連計画

第2次横手市総合計画後期基本計画

第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略

横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画

【基本目標 2】

地域と連携した賑わい・経済効果の創出

【方針 2】

まんが美術館と「増田の町並み」を連携し、一体的な観光拠点として相乗効果を図り、横手市全体への集客効果を上げていきます。

1. 目指す将来の姿

まんが美術館と「増田の町並み」が一体的な観光拠点として賑わい、経済効果が横手市全体へ波及しています。

2. 取組方針

まんが美術館を拠点とし、国選定重要伝統的建造物群保存地区「増田の町並み」との相乗効果を図り、賑わいを創出しながら、横手市全体へ経済効果を広げていくため、地域との連携を更に強化し戦略的な誘客策を講じます。

3. 現状と課題

- まんが美術館（マンガ文化）と「増田の町並み」（伝統文化）が隣り合わせに存在しており、それぞれに国内外から大きな注目を集めているものの、相互の往来が少ない状況にあることから、連携を強化し、回遊性を高める対策が必要です。
- まんが美術館と「増田の町並み」の相乗効果を図っていくことで、経済効果を市全体へ波及する取り組みが求められています。
- まんが美術館におけるアクセシビリティを向上させ、誰もが利用しやすい仕組みづくりが必要です。
- まんが美術館を拠点として、「増田の町並み」をはじめ市内に点在する文化・観光施設や歴史文化遺産等へ回遊させるための戦略的な対策を講じる必要があります。

4. 取組の展開

主な取組	
【取組 2-1】 まんが美術館と地域の連携 促進	1) まんが美術館と「増田の町並み」との連携を促進し、内蔵を利用した企画展の開催や各種関連事業を展開し、地域一体の賑わいを創出します。

	2) 日本マンガ学会や地元企業、団体と連携してマンガに関連するコンベンションを誘致し、市内全域への誘客による経済効果の波及を図ります。
【取組 2-2】 アクセシビリティの向上	1) まんが美術館への来館を促し、併せて「増田の町並み」も楽しんで回遊できるよう交通やデジタル等を活用したアクセシビリティの向上を図ります。
【取組 2-3】 戦略的な観光誘客の実施	1) まんが美術館を拠点とし、「増田の町並み」をはじめ市内に点在する文化・観光施設や歴史文化遺産等へ回遊させるため、旅行商品造成など戦略的な誘客策を推進します。 2) 国内外からのマンガファン誘客を目指し、多言語化を含む情報発信の強化や美術館特有の事業を展開します。

主要事業

1. 増田まんが美術館費
(日本マンガ学会大会招致 [令和4年度予定])
2. 増田まんが美術館費 (債務負担) 指定管理
(企画展開催事業)
3. 増田まんが美術館費情報発信強化事業
(商工観光部門と連携したPR [出前かまくら等])・国内外旅行エージェント
商談会・国内インバウンド拠点PR・多言語音声ガイド・魅力増進マーケティング調査・2次アクセス連携事業)
4. 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業(文化庁補助事業)

取組の成果指標

成果指標	現在値 2020(R2) 年度	2021(R3) 年度	2022(R4) 年度	2023(R5) 年度	2024(R6) 年度	後期目標値 2025(R7) 年度
基本目標	横手市への経済波及効果(百万) ※秋田県産業連関表経済波及効果分析ツール(36部門分類)で分析					
	1,832 2019(R元)年度	960	1,783	2,058	2,126	2,195
サブ指標	旅行商品造成数(件)					
	0 2019(R元)年度	1	2	3	4	5

5. 関連計画

第2次横手市総合計画後期基本計画

第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略

第3次横手市観光振興計画

横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画

横手市歴史文化遺産保存活用地域計画

【基本目標3】

マンガの魅力を活用したこどもの教育、豊かな学びの提供

【方針3】

マンガの魅力を活用したこどもの教育と豊かな学びを楽しめる環境をまちの魅力づくりへつなげます。

1. 目指す将来の姿

マンガを活用したこどもの育成や社会教育を推進し、市民をはじめとした多くの人が豊かな学びを楽しんでいます。

2. 取組方針

日本一多くの漫画家のマンガ原画を収蔵するまんが美術館が横手市にあるという特別な環境を活かし、マンガの魅力を活用したこどもの教育を進めます。

また、マンガ原画に関する研究の成果を活用したキャリア教育や道徳、美術、語学、社会教育等に活用し、質の高い学び・文化を楽しむことができるまちの魅力づくりへとつなげます。

3. 現状と課題

- まんが美術館が横手市にあることで、マンガ原画やマンガの魅力を活かした特色ある教育普及事業を進めることが可能です。
- マンガ原画に関する研究の成果を十分に活用するため、マンガの知識や教養を深めることができる場など、マンガ文化に触れ、楽しむことのできる環境を整える必要があります。

4. 取組の展開

主な取組	
【取組 3-1】 市内の子ども達への特別な 学びの提供	1) 漫画家や出版関係者、まんが美術館の専門員が特別講師となり、まんが美術館での課外授業などを実施し、横手市にまんが美術館があるからこそできる「特別な学び」を提供します。

<p>【取組 3-2】 マンガを活用した豊かな学 びの提供</p>	<p>1) 市内文化・観光施設等のパンフレットや副教材のほか、 その他市発行物へのマンガ活用を促進し、マンガに親 しむことのできる機会を提供します。</p> <p>2) マンガを活用した副教材等の作成・利用を通して、様々 な発見や体験、交流などができる教育旅行等を推進し ていきます。</p>
---	--

主要事業

1. 増田まんが美術館費（債務負担）指定管理
（ワークショップ、移動マンガ教室開催事業）
2. マンガ活用推進事業
（横手市ミライの漫画家発掘マガジン制作プロジェクト事業・増田まんが美術館
のセカンドスクールの活用事業・教育旅行等誘致事業）
3. 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業（文化庁補助事業）

取組の成果指標

成果指標	現在値 2020(R2) 年度	2021(R3) 年度	2022(R4) 年度	2023(R5) 年度	2024(R6) 年度	後期目標値 2025(R7) 年度
基本目標	マガジン制作プロジェクト参加者数（人）					
	58 2019(R元)年度	100	110	120	130	140
サブ指標	教育旅行誘致数（件）					
	0 2019(R元)年度	1	2	3	4	5

5. 関連計画

第2次横手市総合計画後期基本計画

第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略

第3次横手市観光振興計画

横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画

第3期横手市教育ビジョン（横手市教育振興基本計画 横手市教育大綱）